

令和5年3月15日

保護者様

四街道市立和良比小学校  
校長 伊藤 友江

令和4年度 後期 学校評価アンケート（保護者用）の結果について

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、学校評価アンケート（後期分）では、保護者の皆様からたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり結果と考察等をお知らせいたします。

皆様からいただいたご意見を今後の学校経営に活かしてまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 集計結果

回答数620名（回答率95%）

\*上段は前期の結果、下段は今回の結果

\*前期より2%以上向上↑：前期より2%以上下降↓

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない \*数字は%

No.	質問内容	A	B	C	D	E	肯定的 評価 A+B
1	学校は、児童にとって、楽しく学習したり友達と過ごしたりする場所になっている。	49	46	3	1	1	95
		<b>52</b>	<b>44</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>96</b>
2	学校は、児童の学校生活について、保護者に必要な連絡や相談活動を適切に行っている。	38	54	5	1	2	92
		<b>33</b>	<b>59</b>	<b>6</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>92</b>
3	学校は、一人一人の児童をよく理解し、児童の心情に寄り添った指導・支援をしている。	25	58	9	2	6	83
		<b>24</b>	<b>58</b>	<b>11</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>82</b>
4	学校は、あいさつのできる児童を育てている。	27	56	11	1	5	83
		<b>28</b>	<b>55</b>	<b>13</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>83</b>
5	学校は、相手の立場や気持ちを考えられるなど、児童の思いやりの心を育てている。	22	62	8	1	7	84
		<b>25</b>	<b>59</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>84</b>
6	学校は、児童の善悪の判断力や規範意識を育てている。	23	61	7	1	8	84
		<b>24</b>	<b>61</b>	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>6</b>	<b>85</b>
7	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	24	53	15	3	5	77
		<b>23</b>	<b>53</b>	<b>17</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>76</b>
8	学校は、児童に基礎学力を身に付ける取り組みを行っている。	30	58	7	1	4	88
		<b>28</b>	<b>59</b>	<b>9</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>87</b>
9	学校は、児童に宿題や家庭学習、授業の準備を行う等、学校生活に必要な習慣が身に付くように働きかけている。	27	58	11	2	2	85
		<b>26</b>	<b>58</b>	<b>12</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>84</b>
10	学校は、一人一人の児童に応じた必要な指導・支援（特別支援教育）を行っている。	22	53	10	2	13	75
		<b>22</b>	<b>52</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>15</b>	<b>74</b>

11	学校は、児童の健康的な生活や体力向上のための取り組みを行っている。	2 6	5 9	7	1	7	8 5
		<b>2 9</b>	<b>6 0</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>↑8 9</b>
12	学校は、児童の安全に関する意識を高めるための指導や訓練を行っている。	3 3	5 9	4	1	3	9 2
		<b>3 3</b>	<b>5 8</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>9 1</b>
13	学校は、いじめの防止や早期対応に対する取り組みを行っている。	2 6	5 5	7	1	1 1	8 1
		<b>2 5</b>	<b>5 5</b>	<b>6</b>	<b>1</b>	<b>1 3</b>	<b>8 0</b>
14	学校の環境は、教育活動を行う場としてふさわしい環境に整備されている。	3 2	5 9	4	1	4	9 1
		<b>2 9</b>	<b>6 2</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>9 1</b>
15	学校は、保護者や地域と協力して教育活動を行っている。	3 0	6 1	4	1	4	9 1
		<b>2 8</b>	<b>6 0</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>6</b>	<b>↓8 8</b>
16	学校は、たより等で教育活動の様子を適切に伝えている。	3 6	5 6	6	1	1	9 2
		<b>3 7</b>	<b>5 7</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>↑9 4</b>
17	P T A活動の内容がたより等で適切に各家庭に伝えられ、理解しやすいものとなっている。	2 2	6 1	1 0	2	5	8 3
		<b>1 9</b>	<b>5 6</b>	<b>1 5</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>↓7 5</b>
						平均	前期 8 6
							後期 <b>8 5</b>

## 2 考察

### 【成果】

- ・肯定的な評価の全体平均は85%で、全体としては高い評価をいただけたと考えます。
- ・No.1（学校が楽しい）については、前期から引き続き全体で最も高い評価となりました。今後も学校が児童にとって安心して楽しく過ごすことのできる場所であるよう努めてまいります。
- ・No.1 1（健康・体力向上）については、前期に比べ4%上がりました。11月から12月にかけてマラソン練習を実施したり、1月以降は体育の授業を中心に縄跳び検定に取り組んだりし、体力が向上してきました。また1月から高学年の希望する児童を対象に、陸上競技の朝練習を実施しています。
- ・No.1 6（学校からの情報提供）前後期とも高い評価をいただきました。毎月の学年だよりについては、できるだけ学習の様子を入れるように努めるとともに、校外学習や修学旅行、宿泊学習の様子を伝える特別号を配付しました。また、学校ホームページでも教育活動の様子をお知らせしています。

### 【課題】

- ・「わかる授業づくり」を今年度の重点として取り組んできましたが、No.7については後期も他の項目より評価が低くなっています。教職員研修を充実させ、引き続き学校全体で授業改善に力を入れていきます。
- ・No.1 5（地域・保護者との連携）については、後期はコロナ禍以前のように保護者の方々や地域の方々にご協力いただいた教育活動に取り組むことができたのですが（1年生昔遊びの会、2年生町探検、3年生自然観察会）、評価は下がってしまいました。「わからない」という回答が増えたので、機会を捉えて学校と家庭・地域との連携に関する情報提供をしていきます。
- ・No.1 7（P T A活動に関する情報提供）も前期に比べて評価が低くなっています。P T Aのおたより等がよりわかりやすいものとなるよう努めてまいります。

令和4年度 後期 学校評価アンケート（職員用）の結果について

1 集計結果

↑: 前期より2%以上向上 ↓: 前期より2%以上下降

A: よくあてはまる B: あてはまる C: あまりあてはまらない D: 全くあてはまらない \*数字は%

No.	項目内容	A	B	C	D	肯定的評価 A+B
1	学校教育目標、経営の方針、今年度の重点を常に念頭に置いて職務を遂行している。	19	75	6	0	↓94
2	今年度のスローガンを意識して指導を行っている。 (挨拶、思いやり)	41	59	0	0	100
3	安全で安心な学校であるよう安全点検と、避難訓練などを含む安全教育を実施している。	38	62	0	0	100
4	こども・家庭・地域から信頼される学校づくりを目指し、情報発信や地域資源の教材化、外部機関との連携した学習活動を行っている。	13	53	34	0	↓66
5	PDCA サイクルを実践し、教育活動の改善と質的向上を実現している。	16	62	22	0	↓78
6	「全ての教職員で児童を育てる」という視点で共通指導、共通行動、情報共有に努めている。	31	66	3	0	97
7	校務分掌の役割を果たし、職員どうし協力して職務にあたっている。	25	66	9	0	↓91
8	基礎基本の定着を図るとともに、わかる授業を実践している。	13	78	9	0	↓91
9	年間指導計画に基づき、計画的に授業を行っている。	22	72	6	0	94
10	学習課題を青枠で明記し、児童が主体的に取り組めるような指導の工夫、改善に努めている。	41	50	9	0	↓91
11	ICT 機器を効果的に活用しながら、各教科等において深い学びに向けた授業改善に努めている。	19	65	16	0	↑84
12	朝読書を確実に行うとともに、読書活動の充実を図るために図書室等を利用した活動を行っている。	25	62	13	0	↓87
13	全教育活動を通じた道徳教育の推進を、意図的に行っている。	16	71	13	0	87
14	指導のあり方や実践について、児童の実態を考慮し、計画的に進めている。	16	84	0	0	↑100
15	いじめや児童虐待、問題行動の早期発見の重要性を理解しチームで適切に対応している。	31	66	3	0	↓97
16	教育相談を充実させ一人一人の心情に寄り添った指導・支援をしている。	31	69	0	0	100

17	生徒指導上の課題について、全職員共通理解のもと課題解決に当たっている。	28	72	0	0	↑100
18	黙働清掃の意義を理解し、清掃指導の充実に努めている。	19	72	9	0	91
19	ユニバーサルデザインの視点からの授業づくりを実践している。	19	72	9	0	↓91
20	児童の実態を的確に把握し、個に応じた指導・支援の充実に努めている。	9	85	6	0	↓94
21	学校行事や児童会行事等に、児童が主体的に取り組めるよう指導・支援している。	25	69	6	0	↑94
22	委員会活動や係の仕事に児童が主体的に取り組めるよう、指導・支援している。	19	78	3	0	↑97
23	校内研修に積極的に参加し、授業力の向上のために取り組んでいる。	34	63	3	0	97
24	組織的な研修の進め方を理解し、ブロック別の研修等を協力的・意欲的に行っている。	25	72	3	0	↑97
25	自己の課題を把握し、校外の研修に参加する等、自己研鑽に取り組んでいる。	16	65	19	0	↓81
26	常に児童の健康状態を把握している。	16	84	0	0	100
27	日頃から、児童の運動に取り組む態度の育成や体力向上に向けた指導を行っている。	22	69	9	0	↑91
28	食育や歯科指導等、心身の調和的な発達を図るための指導を行っている。	6	72	19	3	↑78
29	児童の危機管理能力の向上のため、交通安全指導、避難訓練、ワンポイント避難訓練等の安全指導を行っている。	25	75	0	0	100
30	校舎内外の施設・設備を完全に使用できるように、点検・対応を行っている。	28	69	3	0	↓97
31	保護者会・個人面談等を、学校と家庭との連携を深める機会として活用している。	16	81	3	0	↓97
32	家庭への通信（学校・学年だより、保健・給食だより、電話など）を、適切に行っている。	19	78	3	0	↑97
33	モラルアップ研修等を計画的に行い、規範意識の高い職場を作るとともに、相談し合える職場環境の醸成に寄与している。	25	72	3	0	↓97
34	サービス規定や職場の約束事、不祥事根絶に関する取り組みを全職員が理解し、実践している。	34	66	0	0	100
35	業務の効率化に努め、勤務時間を意識して業務を遂行している。	13	46	19	22	↑59
36	机上整理や電話の対応など、一社会人として、また、公務員として必要な振る舞いを実践している。	16	68	13	3	↓84

令和4年度 学校関係者評価（後期）

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

項目	評価	評価内容
学校運営	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の学校評価において、肯定的評価が全体の85%と高い水準だった。健康・体力の向上、いじめ対策、不登校対策で、学校と家庭で情報共有した成果と考える。</li> <li>・児童の自主性と協働性を高めるため「ふれあい活動」を実施し、6年生のリーダーを中心とした縦割り遊びや、ふれあいグループを元にした運動会の色分けを行うなど、児童が考え行動する場面を設定し指導していたことが良い。</li> <li>・校舎内外ともに教育の場に相応しい環境維持が図られている。また、職員は児童の人権を尊重しその成長を優しく見守っている。</li> <li>・トイレの洋式化は早く進められると良い。児童にとって重要な課題だと考える。</li> </ul>
学習指導	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に学習に対する目的意識や必要感を持たせ、意欲的・主体的に取り組めるような指導方法の工夫・改善を図っていた。</li> <li>・「わかる授業」「興味・関心を持たせる授業」になるよう、教職員の熱意とそれに応える児童の姿を授業参観で見ることができた。</li> <li>・学習のめあてを明確にし、児童がその時間の授業の見通しを持てるようにすることは良いことだと思った。専門の先生を招いての授業も、良い経験になったと思う。</li> <li>・授業が楽しく分かりやすいかどうかを捉えるためには、児童の感想や要望を収集しておくことも一案だと考える。</li> </ul>
学校行事等	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校はコロナ禍において感染症対策を踏まえて教育活動の充実を図ったので、自然観察会やマラソン大会など、コロナ禍以前の教育活動に近い活動ができた。</li> <li>・学校内外における、自然観察、世代間交流、伝統的・文化的活動等、多方面に渡る見学や体験活動を通して、児童の健全な成長が図られていた。</li> <li>・中学生との交流が、子どもたちにはとても興味深い活動になったと思った。</li> </ul>
生徒指導	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スローガン「自分からあいさつ」「やさしいことば」が児童に浸透していることが、児童アンケートの数値が向上していることからよく分かった。</li> <li>・画一的な指導でなく、児童個々に即した対応が行われていて良い。教職員の労を惜しまない取組の賜であると考え。</li> <li>・学校評価における「児童理解と児童の心情に寄り添った指導」について、保護者の評価と職員の評価に大きな数値の差が見られた。児童の感想や要望も捉え、実態が把握できると良い。</li> </ul>
家庭・地域との連携	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「和良比小だより」の自治会での回覧を通して、学校の運営状況を多く知ることができるので、毎回楽しみにしている。</li> <li>・学校、家庭、地域の連携が十分考慮されている。児童は地域で育てるという気風、認識が共有されている。</li> <li>・秋頃にPTAと地域の方々と落ち葉掃きをして、更に交流を深められるとよい。</li> <li>・PTA活動は、共働きが当たり前となる中で、仕事の休みを取ることが難しいと思う。より良い方法を検討し、学校と児童の様子に興味をもってもらうためにも、PTA活動を継続して行ってほしい。</li> </ul>
児童の様子	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期から引き続き学校の適切な方針のもと、児童が元気を取り戻している。学校は楽しく学習したり友達と過ごしたりする場所だという意識が定着している。</li> <li>・4月から1年間児童の様子を見てみると、児童の各所に成長が見られ喜ばしい。</li> <li>・児童が教職員を見る目が、時には憧れであり、また尊敬であり、その表情は実に豊かである。社会生活の基盤が徐々に養成されていると感じる。</li> <li>・授業参観では、どの学級も落ち着いて授業に取り組んでいた。</li> <li>・優しい言葉をかけることは、いじめ防止にもつながることだと思う。引き続き児童には意識をして欲しい。</li> </ul>

